

バレーボールにおける勝敗の傾向

第二高校

以前、全日本女子バレーの監督が戦術を組み立てる上でタブレットを活用していたことが注目された。スポーツは多くのデータをもとに戦術を組む新たなものになっていくのかもしれない。試合の最初の5点を特に大切にしようと言うのが本当なのだろうか。最初の5点は、試合の勝敗や流れに大きく関わっていると思うが、直感でそう思っているだけだ。もし勝敗との関係があるのなら、これからバレーボールをしていく上で、一つの強みになると思う。そこで今回は、2チームのゲームスコアからデータを取り、5点先取と勝敗の関係性を調べた。データが示す傾向と、自チームの特性を比較しつつ、どのような試合展開をしていけばよいかをここでは研究していく。

仮説

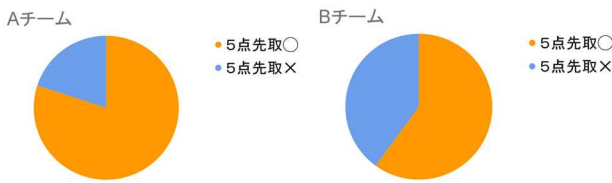
- (1) 5点先取した試合の勝率は高い
→ 5点先取しなかった試合は負ることが多い
- (2) 20点先取した試合の勝率は高い
- (3) Aチーム：試合終盤の点差の変化は小さい
Bチーム：試合終盤の点差の変化は大きい

研究の方法

私の1つ上の代のチームと私たちのチーム各項目それぞれ100個のデータを集めた。これら2つをAチーム、Bチームとする。

研究1 〈5点先取と勝敗の関係性〉

・勝った試合



・5点先取できなかった試合



研究2 〈20点先取と勝敗の関係性〉

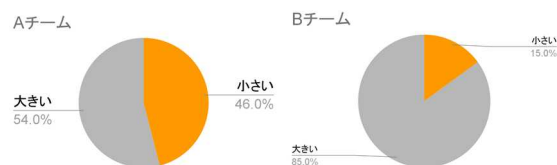
・勝った試合



研究3

研究方法 (例) 20-18 → 点差2
 25-22 → 点差3

・試合終盤 点差の変化



考察

〈Aチーム〉

- ・5点先取できた試合はそのままの流れで勝つことが多い
- ・5点先取できていない試合は負けていることが多い
→ 最初の試合展開を引き釣りがち
- ・試合終盤の点差の変化が小さい
→ リードしたらそのままの勢いで勝ちきれ
→ 負けている時の追い上げがいまいち

〈Bチーム〉

- ・5点先取ができなくても勝つことが多い、切り替えができる
- ・勝った試合でも5点先取できている試合が少ない
→ 全体的に見て出だしが悪い
- ・試合終盤の点差の変化が大きい
→ 負けている時の追い上げができていない
→ リードしている時の相手からの追い上げから逃げ切れていない

展望

2チームを更に強化するために、各チームの特性を生かし、どう試合を展開していけばよいか、この研究結果から次のようなことが考えられる。

〈Aチーム〉

- ・出だしが悪かった時にすぐ切り替える
→ 流れを自チームに持ってこれる決め球の強化
- ・負けていても少しずつ点を稼いで我慢しながら戦う力
→ 相手との点差が開くのを避けるために連続失点に警戒するべき、サーブミスなどの連続失点の原因となるミスをなくす

〈Bチーム〉

- ・出だしをよくする必要性
→ 相手の特性を素早く見抜きコート内で共有、それに対応した戦い方
→ 最初から緊張感を持つために練習の時から緊張感のあるメニューを取り入れる
- ・終盤の粘り強さを強化する
→ ラリーが続いた時に粘り強い守備と厳しいボールでも決められる攻撃力以上が、今回の研究結果から挙げられる考察と展望である。